

その他の食料品製造業におけるその他の材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	18~19	おにぎりの具製造ライン包装工程で2名がオペレーター業務に従事していた。箱詰製品の結束機のバンド詰まりが発生したため、オペレーターAは製品の横取り作業を行い、一方のオペレーターBは結束機のバンド詰まりの対応に当たった。Bが詰まりを処置し復旧後、Aが箱入れ作業の補助に当たるべく移動しようとしたところ、床上にあった結束機詰まり処置後の不要のバンドに足を取られ、勢いよく転倒し右膝を床に強く打ちつけた。	57	300～499
4	1~2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	100～299
5	14~15	4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を行っていて、他の従業員は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	500～999
5	13~14	学校給食センター洗浄室内においてフォークを洗浄する際、すすぎに使用するバケツの湯の温度が高いのに気付かず、軍手をして手を入れ、右手の指先から甲の部分に火傷を負った。	22	30～49
6	18~19	庫内（マイナス7度）において、1本135kg、高さ105cmの立っている氷を横に倒す際、片足を滑らせ体のバランスを崩し、氷が右足を直撃した。安全靴を履いていたので足指先に負傷はないが、足の甲を負傷してしまった。	50	1～9
	11~	親子丼焼成ラインにて、高温の鉄皿を容器に移しかえる作業中、ルール通りビニー		300

6	12	ル手袋3枚、軍手1枚を着けて作業していた。熱を感じていたにもかかわらず我慢し、誰にも報告せず生産終了まで作業を続け、低温火傷を起こした。	26	～ 499
6	8～9	包装機のフィルムを抱えて戻ろうとした際に、棚の付近で他の人が屈んで作業をしていたので避けて通ろうとしたが、バランスを崩し、抱えていたフィルムで左膝上部を強く打ちつけた。疼痛はあったものの外傷もなかったのでそのまま就業していたが、2時間後に左膝上部が内出血の様に腫れて変色してきた。	76	50 ～ 99
7	14～15	工場第1整形室にて機械の入口から出てきた原料肉をひっくり返し、その原料肉を再び同じ機械に入れる作業をしていたときに、機械の入口から離れたところから原料肉を入れようとしたため、体勢を崩して原料肉を持っていた右手首をひねってしまった。後日痛みが増し、右手関節捻挫の診断を受け18日後にMRI検査をした結果、右肩腱板不全損傷で休業見込みを1か月要することがわかった。	37	300 ～ 499
7	14～15	野菜処理室で、下処理をするたまねぎの入ったコンテナを作業台にのせる作業を何度か行う中で、腰に負荷がかかり痛めた。普段、重いものは2人で持つよう指導され実践していたが、その日は周りに人が少なかったため、1人で持つ不安全な行為があった。腰に負荷が掛かっている状態で作業を継続したため、バランスを崩し左足を痛めた。	40	100 ～ 299
7	7～8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	100 ～ 299
7	7～8	豆煮釜に蒸気を入れて、豆を煮ていた。沸騰してきたので蒸気バルブを閉じて釜に注水し、沸騰が止まったと思ふたを開けたところ、煮汁と豆が吹き出し、両足に火傷した。本来は防水前掛をしなければならなかったが、その時はしていなかった。	36	1～ 9
7	21～ 22	工場内下処理加熱室にて蒸気釜を使用してブランチング（茹でる作業）後、中のザルを手前に持ち上げた時、付けていたエプロンの下端がめくれており、隠れるはずの長くつの上部からお湯が入り、右足の甲を火傷した。	48	50 ～ 99
9	7～8	給食センター調理室で、笹型白身魚フライ投入中（2人作業中）、両手で投入している際、片手に2、3個持って投入していたため、その内の1つを油に落としてしま	59	50 ～

		い手袋と腕抜きの間の手首が出ていたところに油がはねて火傷した。		99
12	20~21	被災者が製品冷蔵庫内でプラットーに乗車し、荷役作業を行なっているとき、扉開閉用の紐が、プラットーのマストに挟まった。被災者はこの状態に気づいておらず、プラットーを後退させたところ紐が切れ、その反動で飛んできた紐が被災者の左目を直撃した。	47	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html